

特別の教科 道徳 授業づくり講座

in 東洋町立甲浦中学校

授業をアップデート！
生きて働く学びを創る！

東部管内の
講座情報



令和5年11月発行
東部教育事務所



道徳科の教材研究を、チームミーティングで協働的に！



「主題に迫る中心発問・問い返しとは？」「思考を深める効果的な板書とは？」道徳科の授業づくりで、こんなお悩みはありませんか？今年度の道徳科授業づくり講座では、「道徳科 チームミーティング」の手法を取り入れた演習や協議を通して、深い学びを実現する授業づくりと道徳科の評価のポイントについて共に学び、授業力アップを図っています！東洋町立甲浦中学校で行われた講座の様子をお伝えします。ぜひ、授業づくりの参考にしてください！

道徳科 チームミー ティングとは？

※道徳科授業づくり講座
講師である森教授が
考案された手法です

ファシリテーターが参加者の協働的な学び合いを促し、短時間で行っていく教材・授業研究会のこと

- 事前・事後研究シートを活用することで、参加者の道徳科の専門性を磨きます！
- ファシリテーターが、授業者の悩みや課題をもとに協議を進めることで、協働性・同僚性に働きかけます！
- 校内研修であれば30～40分の短時間で実施でき、働き方改革の促進に役立ちます！

【役割】ファシリテーター、教材提供者（授業者）、協議者
【準備物】ボード、マーカー、項目カード、事前研究シート、
教材、タイマー、デジカメ、（あれば指導案）
【時間設定】校内研修なら30～40分

授業者
第3学年 担任
東 美優 教諭

ファシリテーター
高知大学教職大学院
森 有希 教授



教材名 「月明かりで見送った夜汽車」【B 思いやり、感謝】（「中学生の道徳 自分をのばす3」廣済堂あかつき）

（あらすじ）昭和42年、「私」の勤める小学校では次の日の文化祭準備のため多くの先生が放課後残って作業をしていた。そんな中、国体に参加するI先生が残りの作業を気にしながら途中で抜ける。他の先生たちが遅くまで作業を続けていると、Y先生が、「I先生の乗る列車がもうすぐ通るから、学校中の電気を消してもらおう、放送しよう。」と提案する。暗闇の中から聞こえるオーという歓声と拍手。月明かりの中、夜汽車の窓明かりが暗闇に吸い込まれるのを教室の窓ガラスに顔をくっつけて見つめながら、「私」は胸がじいんとしてくるのだった。

道徳科 チーム ミーティングの流れ



① チームミーティングの流れと教材・内容項目・児童生徒の実態を確認する

- ・ファシリテーターは、ミーティングの目的や時間設定、役割分担等を伝える。
- ・ファシリテーターは、事前分析シートのうち、まず【教材の概要】と【指導の要点】を押さえる。

② 教材提供者（授業者）より授業づくりに関する悩みを共有する

- ・授業者は、事前研究シートを活用しながら特に悩んでいる項目を伝える。
- ・ファシリテーターは、授業者とやりとりしながら協議する項目を焦点化する。

③ 「事前研究シート」の項目をもとに協議する

- ・授業者の悩みに答えるポイントに絞って協議する。
- ・ファシリテーターは、意見交換を促し、適宜視点の再焦点化を図る。

④ 授業者が取り入れたいことなどをまとめる

⑤ 協議結果を記録・保管

まず、道徳の内容の【B 思いやり、感謝】の実現に関して、教材で現れている望ましい姿(+)と難しい姿(-)を押さえ、価値が実現するためにどんな思いや考えが必要か、指導の要点をみんなで考えていきましょう。学習指導要領解説の「指導の要点」の内容も確認してみましょう。

ファシリテーター



教材の概要	価値に対して望ましい姿・様子(+) 相手の状況を考え、送り出す。 電気を消して気遣う。 賛同の声と拍手。	価値の実現が難しい姿・様子(-) 相手を気遣わない。 気遣う行動に対して賛同しない。
指導の要点	(何に気付かせたいか、何を引き出したいか) 思いやりとは・・・ ○相手の事情や気持ちに思いを致す。 ○相手の立場に立って考える。○相手の存在、人間を大切にすること。	

授業者の悩み

この発問と板書で、主題に迫れるか悩んでいます。

授業者案の ◎中心発問 と ◆問い返し

- ◎Y先生の言葉や行動にはどんな意味があるのだろう。
- ◆今後、このことを知ったI先生は余計に気を遣うのでは？

ファシリテーター

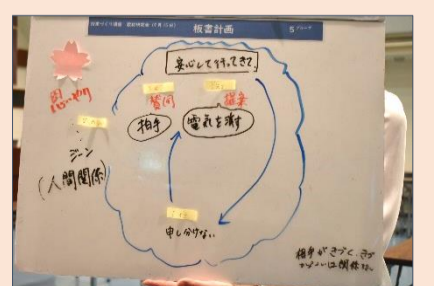
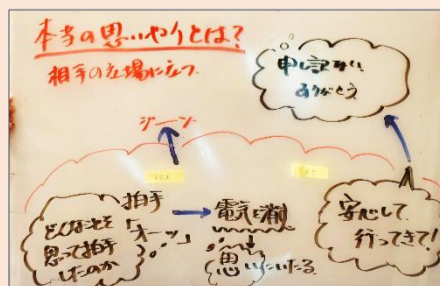
では、事前研究シートの中でも、中心発問と問い返しとを考えを深める板書に絞って、協議していきましょう！

協議より 主題に迫る ◎中心発問 と ◆問い返し 案

- ◎胸がじいんとしてきたとき、私はどんな思いだったのだろう。
- ◆なぜ電気を消したのだろう。
- ◆拍手をしたのは、どんな思いからだろう。
- ◆電気を消していたことをI先生が後から知ると、かえって気を遣うのでは？
- ◎本当の思いやりとは？
- ◆相手に分からない思いやりも思いやりといえるのか。



板書案



協議では、見返りや感謝を求めず、ただひたすら相手を思って行動するのが思いやりであるという深めたい考えや、関係図をもとにした構造的な板書の案が出ました。授業者の先生は、取り入れてみたいことはありましたか？

ファシリテーター

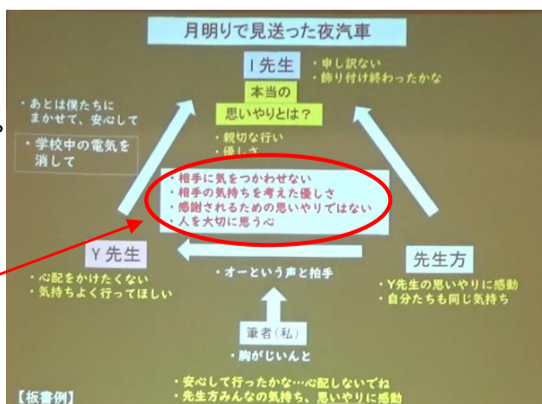
講師の指導・助言 高知大学教職大学院 森 有希 教授



考えを深める板書について

※教材の登場人物の関係図をもとにした構造的な板書について、生徒の思考の流れに沿った展開例をお話いただきました。

板書例



① 対比的・構造的に示す工夫

教材の内容を視点や立場別に書き分け、整理する

② 中心部分を浮き立たせる工夫

教材の価値についての気付きを、最後に中心に示す

参加者の声



- 板書を時系列で書くのではなく、相関図を活用して価値に対する考えを深めていく手法が具体的で大変勉強になった。
- グループ協議では、問い返しの様々なパターンを考えることで、学びを深めながらねらいに迫る流れについてイメージをもつことができた。